

ID <sup>注1)</sup>	031130	公開レベル <sup>注1)</sup>	C	保管形式 <sup>注1)</sup>	紙	保管場所 <sup>注1)</sup>		前回ID	
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	---	---------------------	--	------	--

報告書名称 /調査名称	白神山地世界遺産地域の森林生態系保全のためのモニタリング手法の確立と外縁部の森林利用との調和を図るための森林管理に関する研究報告書（平成10～14年度）／ 白神山地榊石山南斜面および榊石山尾根部の土壌から確認したオサムシ科甲虫類							発行年月/報告年月	
	2004年		2月						
	資料形式 <sup>注2)</sup>							報告書	

調査機関	環境省自然環境局 東北地区自然保護事務所	委託機関	細田浩司(茨城県林業技術センター)
------	----------------------	------	-------------------

調査開始年	1999年	10月	調査期間	1999年	10月	～	1999年	10月
-------	-------	-----	------	-------	-----	---	-------	-----

調査頻度 <sup>注2)</sup>	—	—	—	調査時期 <sup>注2)</sup>	秋	—	—
---------------------	---	---	---	---------------------	---	---	---

モニタリング計画	2012年3月 策定	区分 <sup>注2)</sup>	ⅡB	大区分 <sup>注2)</sup>	2	小区分 <sup>注2)</sup>	(1)
----------	------------	-------------------	----	--------------------	---	--------------------	-----

調査箇所・範囲 <sup>注3)</sup>	目的・調査手法
------------------------	---------

核心地域     緩衝地域     周辺地域

GPS等の位置データあり

※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

■調査手法  
 調査地は、植物調査班が設定した「榊石山南斜面」と「榊石山尾根部」の調査プロット内およびその周辺のブナ自然林とした。1999年10月2日、2001年9月1日に両地点で土壌試料を採取し、ツルグレン装置で土壌動物を抽出した。土壌動物の抽出は独協医科大学、昭和大学および栃木県立博物館に設置されているツルグレン装置を使用した。抽出した土壌動物は土壌動物班調査員が各動物群にソーティングした。  
 このほか1999年10月2日～3日にピットフォールトラップを両地点に設置した。誘引剤として酢酸・エタノール・水の混合液と蜂蜜液の2種類を使用した。  
 標本の同定は、引用文献に記したものを参考にした。このほか独立行政法人農業環境技術研究所に保管されている土生コレクションの一部を参考にした。

結果概要（スペースに収まるように入力してください）

土壌試料から4属5種14個体を確認した。更に、ピットフォールトラップから別の1属1種を得て、計6種を確認した。

今回の調査は1999年10月と2001年9月の2回の調査の土壌試料と1999年10月2～3日のピットフォールトラップで得たオサムシ科甲虫類について調べた結果であるので、調査時期が限定されたことにより、必ずしも白神山地の地表徘徊性および土壌中に生息するオサムシ科甲虫類を十分に把握したとは言いがたい。

オサムシ科甲虫類を捕獲する場合、ピットフォールトラップ法を使用することが一般的である。今回のピットフォールトラップ法での捕獲は、1種1個体であったが、調査時期や調査期間の低い気温がオサムシ科甲虫類の捕獲数に影響したと考えられる。しかし、本調査でも示されたように、ツルグレン装置を使って土壌試料から抽出するとより多くの種が採取されるので、両法を併用して調査することが望ましい。また、オサムシ科甲虫類は成虫が発生する時期が種ごとで異なるため、四季を通じた調査が必要になる。今後、同一地点内で、地形や植生の異なる林分での調査をすれば、確認される種数は当然増えるであろう。

今後、白神山地でオサムシ科甲虫類をモニタリング調査する場合、指標とする種は東北地方北部に分布域を持ち、白神山地に広範囲に生息するアオモリナガゴミムシ(Pterostichus(Abea) yamaushii Morita)が妥当と考える。今回の報告は土壌試料を調査した結果に基づいているため、ピットフォールトラップなど他の方法で調査した場合、優占種が異なることがあると考えられる。

問い合わせ  
 環境省東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所  
 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1  
 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635

《原本（データ）の帰属について》

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。  
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。  
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考